

第1回川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会 会議録（摘録）

- 1 会議名 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会
- 2 日 時 令和6年10月28日（月） 14時00分～15時30分
- 3 場 所 川崎市本庁舎復元棟205会議室
- 4 出席者
 - （1）委 員 稲庭委員、中村委員、平井委員、藤嶋委員
 - （2）事務局 （川崎市市民ミュージアム）蛭川館長、磯崎担当課長、前田担当課長、
山崎担当係長、立石職員
（市民文化局市民文化振興室）井上担当係長、岡本担当係長
（学芸業務受託者）佐藤学芸室長、竹本広報主任
- 5 議 事
 - （1）令和6年度事業の事業報告及び評価について
 - （2）令和6年度今後の事業予定について
 - （3）その他
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者 0名

■ 議事録

○ 開会

【蛭川館長挨拶】

【委員紹介・事務局紹介】

【会議の公開等】

【議事内容】

（事務局から、資料1「令和6年度川崎市市民ミュージアム活動評価について」説明）

（事務局から、資料2「展覧会①「くらしの移り変わり「明治・大正・昭和の川崎」」について説明）

藤嶋委員 生徒向けのチラシ配布が難しくなったのはなぜか。

- 事務局 教員への負担軽減等のため、原則「かわさきイベントアプリ」等での広報に変更することになったため。
- 中村委員 そのアプリというのは子供全体に通知等流せるものなのか。
- 事務局 通知としては流れるが、本人が開かない限り詳細な情報を見てもらうことは難しい。
- 平井委員 関連イベントについて参加人数に対して申込者が多く非常にニーズが多いものだったと思うが、参加できなかった人数がかなり多い。その理由は、会場の問題等で吸収できなかったということか。多くの申込があったにも関わらず切らざるを得ないというのはもったいない。
- 事務局 イベント会場があまり広くなく、危険度を考えると多くを受け入れることが難しく、参加者数を増やすことができなかった。
- 中村委員 チラシが教育委員会のアプリへの運用が変更となるとのことだが、今回アンケート見てもあまりSNSでの認知経路は多くないと感じる。そのことについて、今後何か考えているのか。
- 事務局 現在市内小学生に配置されているギガ端末などへの情報提供や他の子供向けアプリへの掲出などを検討中。
- 中村委員 対象の小学校3・4年生といえればかなり自我もあると思うが、決定権は子供なのか親か？
- 事務局 親が多いと思われる。ただ子供がイベントを見て親に呼びかけるというのはあると思う。
- 中村委員 小学校3・4年生の親の世代といえれば20・30代が多いと思うが、InstagramやTikTokなど年代にあわせた効果的な広報を行うと良いと思う。
- 稲庭委員 アプリは教育委員会が推奨しているのか？アプリ自体が使われていなければ効果は薄い。子育てアプリなものもあるので、そちらに挙げたほうが子育て中の親などに効果的ではないか。小学校までは親への周知のほうが効果的だと思う。
- 平井委員 アプリやDX、デジタルなどあると思うが、伝わらないと意味がない。どういうチャンネルでターゲットに合った広報やアンケートをするのかを考えないと難しい。まだまだ紙が有効なものもある。教育委員会を通してのチラシ配布が難しければ、単純な配架だけではなく直接手にとれるような対策を考えたほうが良い。デジタル化するだけではいけない。
- 藤嶋委員 高齢者などもアプリで情報を得たりするのは難しい。
- 平井委員 歴史にかかる展示であれば特に、ターゲットに合わせた周知方法を考える必要がある。
- 藤嶋議長 本展の評価は「B」で良いか。
- 各委員 「B」でよい。

(事務局から、資料2 展覧会②「川崎市制100周年記念展 曾谷朝絵 Colorings」について説明)

- 藤嶋委員 ただ壁に掛ける作品ではなく光の中をいくインスタレーション作品や参加型の作品など、高齢者などは参加型というものにあまり馴染みはないと思うが、今回の形だと入りやすいのではないかと感じた。
- 平井委員 新しく実施したデジタルサイネージでの広報は、アンケートの認知経路のどこに該当するのか。
- 事務局 「その他」に含まれる。

- 平井委員 せっかく挑戦的な広報をしているのであれば、アンケートでは「デジタルサイネージを見た」という項目をたて、効果をしっかりと把握したほうがよいと思う。
- 中村委員 川崎市外からも多く来ていることから、良い展示だったのだと思う。ただせっかく映える企画であったにもかかわらずインスタによる認知度が低い。ポスターなどインスタによる映えを効果的に活用できればまた違ったのではないかと思う。
- 稲庭委員 ワークショップにも多くの人が参加しており、来場者数より参加者数が多くなっているが、この人々は、来場はせずにワークショップのみ参加したということか。
- 事務局 参加者数は、こども文化センターなど施設に事前に線描をお送りし、出来上がったものを返送していただいた方と、会場で参加していただいた方の合わせた人数になる。
- 中村委員 予算について、会場設営にかなり予算を振り分けたとのことだが、予算は？
- 事務局 会場設営費は、約 720 万円、全体の予算としては約 1150 万円である。
- 平井委員 全体の予算 3500 万円の内の 1150 万円ということか。他の展示に影響はなかったのか。
- 事務局 展示単位での予算はおさまっているので他の展示には影響はない。今回の展示の中で、予定していた図録・パブリックアートなどを実施せず、展示造作等に力を注いだ形となった。
- 中村委員 今回は作家の意向もあり会場設営に注力したとのことだが、予算配分のバランスはどのように考えているのか。
- 事務局 図録を作るか展示会場に重点を置くかなど、作家と調整を行った上で決定している。
- 平井委員 アンケートが 3 割以上取れているが、Web と紙の比率はどうなっているか？
- 事務局 Web が 325 件、紙が 89 件になっている。基本的には web でお願いしたが、web が難しい方には紙を案内した。
- 平井委員 来場者によって紙か QR かなど媒体は考える必要があるが、良い結果だと思う。
- 藤嶋議長 評価は「B」で良いか。
- 各委員 来場者数もアンケート回収率も高く「A」で良い。

(事務局から、資料 2 上映会①「岡本喜八正生誕 100 年！ 映画とライブでジャズ大名」について説明)

- 藤嶋委員 非常に有名な監督だが、映像と音楽のまちとして麻生地区が中心となってやっているが、高齢者が関心を持っていることがよくわかる。
- 平井委員 申込方法はどのような方法か。申込時にアンケートを行ったのか。
- 事務局 事前申込は 450 名程度 web サイトでの事前申込と合わせて当日申込を行った。インターネットでの申込ができない方には電話受付でも対応をした。料金の徴収は当日行った。事前申込は 450 名程度、当日申込は 60 名だった。申込時にアンケートも実施している。
- 中村委員 初の共同開催イベントだったとのことだが、市民ミュージアムとしてのねらいなどはあったのか。
- 事務局 等々力にミュージアムがあった際には毎年上映会をやっていたが、麻生区での知名度は低かった。そのため麻生区への移転時に麻生区民への周知を目指し市民ミュージアムからしんゆり映画祭事務局を訪問し、機会をつくって一緒に事業をしようという話をした。結果的

にも周知の面でも成功だったと考えている。

中村委員 今後も共同で継続開催など見据えているのか。

事務局 課題等も踏まえて、今後も継続できれば開催していくつもりである。しんゆり映画祭だけでなく、アートセンターなどとも連携していければ良いと考えている。

稲庭委員 かながわニュースとはどのようなものか、映画ニュースのことか。

事務局 おっしゃるとおり。ミュージアムが持っているコレクションの中から、麻生区に関連した映画ニュースを選定した。

平井委員 ミュージアムの社会的役割として、地域の活性化を担うことは重要で意味のある事業だと思う。新しいミュージアムの場所を含めてどういう連携ができるかは、色々な方面から継続して検討してほしい。

藤嶋議長 評価は「A」で良いか。

各委員 「A」で良い。

(事務局から、資料2 開催中、今後行われる展覧会、教育普及事業、予算等について説明)

藤嶋委員 山口展のAWAZUHOUSEというのは、昔からあるのか。

事務局 栗津潔の住居としては、昔からある。今は住んでおらず、最近展示など活用できるようフォームを行った。

[予算]

中村委員 市民ミュージアム学芸業務委託費よりもそれ以外が多いが内訳を教えてください。

事務局 施設管理や修復委託などの費用を主なものとして含んでいる。

平井委員 市民ミュージアム学芸業務の諸経費が高いが占める内容が多いものは何か。

事務局 人件費になる。

平井委員 それは市の職員の人件費も含まれるのか

事務局 市は含まれない。

平井委員 寄附金は直接市民ミュージアムが受け入れることができるのか。

事務局 被災収蔵品の修復のためとして市民ミュージアムがホームページで直接受けているものと、財政局が管轄しているものがあり、ふるさと納税などは一度財政局で受け、振り替えて市民ミュージアム事業にあてている。

稲庭委員 市民ミュージアムの学芸業務委託に修復は含まれるのか。

事務局 学芸業務委託の中で被災収蔵品の応急処理を行っている。冷凍コンテナ保管→解凍・開被→乾燥などを行っており、そこに関する人件費等は含まれている。別途、市が直接修復家に委託している約2億5千万円については、学芸業務委託以外に含まれている。

稲庭委員 5億4千万の中の2億5千万が修復に使われているということか。

事務局 おっしゃるとおり。

稲庭委員 毎回修復の報告があったと思うが、今回は？

事務局 今までには年度末までの状況を5月に公表していたが、現在新たなミュージアムの建設に係る基本計画の策定を準備しており、そこに合わせてレスキューの状況を報告する予定であ

り、来年２月を目途に集計を行っている。

速報値になるが、４月１日時点で修復をしなければならない 172,000 点の内、約 77,000 点の修復を終えている。

〔修復〕

中村委員 被災しているということを市民は忘れかかっている人が多いと思う。ミュージアムが活動している展示などイベントのみが発信されているように思う。被災した事実があった上で、移転したことにより麻生区での連携事業が起こったなど、明るく発信できる事業があることを SNS やオンラインで発信することで、本当の意味で啓蒙啓発につながるのではないかな。

事務局 ホームページには掲載しているが、SNS などの情報発信については今後検討していきたい。

平井委員 修復は数で半分弱終わったから同じ時間の作業で修復が終わるわけでないと思う。新しいミュージアムを作るときにも、市民に理解が得られるように新しい建物の事業と被災したものの修復作業をデジタルだけではなく見える化する手法を考えてほしい。

○ 閉会